

BANK REPORT 2019

百十四銀行 中間期ミニディスクロージャー誌

第151期 営業の中間ご報告

2019年4月1日～2019年9月30日

114BANK mini Disclosure

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2 中期経営計画
- 3 経営理念・行動指針・百十四銀行のSDGs宣言
- 4 地域価値の創造
- 5 地域経済の成長・発展
- 6 地域に住む人々の幸せの支援
- 8 誰もが活躍できる場の創出
- 9 業績ハイライト
- 11 経営の健全性について
- 12 株式情報
- 13 財務データ

ごあいさつ

平素より百十四銀行をご利用、お引き立ていただき、まことにありがとうございます。

この度、皆さま方の当行に対するご理解が一層深まりますよう、「2019年9月中間期ミニディスクロージャー誌」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、テクノロジーの進化による金融サービスの高度化や、それに伴うお客さまの行動の多様化により、金融機関のビジネスモデルは大きな転換点を迎えております。

このような環境下、2017年にスタートした中期経営計画「**チャレンジ・バリュー・プラス**」（計画期間2017年4月～2020年3月）のもと、金融の枠を越えてお客さまと地域を徹底サポートすることで、共に成長する新たなビジネスモデルの確立をめざし、「3つのチャレンジ」（営業力の強化）を柱に、お客さま・地域社会の成長支援に取り組んでまいりました。さらに、ITを活用した非対面チャネルの強化及び業務効率化等により、ローコスト経営の実現にも取り組んでおります。2019年度は、中期経営計画の最終年度として、これまで以上に質の高い金融サービスの

提供につとめるとともに、金融の枠を超えたコンサルティング機能の発揮により、お客さま・地域と当行の新たな価値共創を実現する所存です。

また、国連が提唱する持続可能な社会を実現するための国際目標（SDGs）の達成に向けた取り組みについても、2019年5月に公表した「百十四銀行SDGs宣言」に基づいて、積極的に推進してまいります。

皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

頭取

綾田 裕次郎



Profile [2019年9月30日現在]

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	貸出金	2兆8,458億円	店舗数	124店舗 (本文店103、出張所21)
創業	1878年11月1日	資本金	373億円		海外駐在員事務所 2 (上海・シンガポール)
総資産	4兆9,686億円	発行済株式総数	30,000千株		
総預金	4兆2,446億円(譲渡性預金を含む)	従業員数	2,250人	店舗外ATMコーナー	164カ所

※ 本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

中期経営計画

名称・計画期間
(2017年4月～2020年3月)

チャレンジ・バリュー^{プラス} ～金融の枠を越え、新たな価値を共創～

めざすべき姿

金融の垣根を越えて地域の「ありたい」にとことん関わり、地域と一緒に成長する

営業力

3つのチャレンジ お客さま・地域と当行が共に成長する好循環の実現

地域社会

- ◆地域別戦略の明確化
- ◆地方創生への取り組み強化

地域価値創造に**チャレンジ**

法人顧客

- ◆事業性評価の深化を通じたコンサルティング営業
- ◆事業ステージに応じたバリューアップ

事業価値向上に**チャレンジ**

個人顧客

- ◆ライフステージに応じたサービス提供
- ◆個人営業の変革

生涯価値向上に**チャレンジ**

【行動指針】 どんなどきもお客さまと地域を徹底的にサポート

運用力

市場運用

運用
体制
整備

運用
強化

事業基盤

5つのプラス

チャンネル改革^{プラス}

- ◆対面（店舗網）の再編成
- ◆非対面の拡充

生産性向上^{プラス}

- ◆営業店事務改革
- ◆経費削減
- ◆本部業務改革

組織力強化^{プラス}

- ◆働き方改革
- ◆グループ力強化
- ◆営業店表彰制度改革

リスク管理高度化^{プラス}

- ◆リスクと収益の統合的な管理

アライアンス^{プラス}

- ◆地方公共団体
- ◆各種外部連携
- ◆四国アライアンス

経営基盤

- ◆ICT戦略
- ◆業務継続計画（マスタープラン）
- ◆ガバナンス
- ◆コンプライアンス
- ◆戦略的CSR

経営理念

- 1 お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

2019年3月、
当行の「経営理念」の実現に向け、
役職員がどう行動すべきかを示した
「百十四銀行 行動指針」を
新たに制定しました。

行動指針

- 対話を密にし、相互の信頼を深めます
- プロフェッショナルとして成長するための努力を惜しみません
- 多様性(ダイバーシティー)を理解し、人権を尊重します
- 環境の負荷軽減に努め、地域の活性化に貢献します
- ステークホルダーの期待を超える行動を実践します

「百十四銀行のSDGs※宣言」

百十四銀行は、経営理念に掲げる「お客さま・地域社会との共存共栄」の実現をめざし、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)を自らの企業行動につなげることで、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

取締役頭取 綾田 裕次郎

〈重点テーマ〉

地域価値の創造

地域の魅力を発掘し、それを発信することで地域価値を創造します。



地域経済の成長・発展

金融の枠を超えてお客さまと地域を徹底サポートすることで、共に成長する好循環を実現します。



地域に住む人々の幸せの支援

資産形成のサポートを通じ幸せな生活を支援するとともに、社会貢献を通じ地域活性化に取り組みます。



誰もが活躍できる場の創出

多様な考え方を受け入れ、役職員や地域の人々がいきいきと活躍できる場を提供してまいります。



※SDGsとは…

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに国際社会が達成すべき目標です。持続可能な社会を実現するための17の目標、169のターゲットから構成されています。



地域価値の創造

地域の魅力を発掘し、それを発信することで地域価値を創造します。

8 働きがいの
経済成長も



✓ 産業創出支援

創業支援

創業をめざす方を対象とした創業支援セミナーを地方公共団体等と連携して開催しています。また、経営計画の策定や、販路開拓支援等も行っています。



✓ 観光振興支援

瀬戸内モニターガールズ

女性行員と香川県の女性職員で「瀬戸内モニターガールズ」を結成し、香川県内の産業観光にスポットを当てた「モニタリング研修会」を開催しています。女性目線で地域の魅力を発掘し、情報発信を行なっています。



✓ 四国創生

四国アライアンス

四国の地銀4行による包括提携「四国アライアンス」では、各行が健全な競争関係を維持しつつ、それぞれの強み・ノウハウを結集して、四国創生に取り組んでいます。

◆「ビジネスプランコンテスト」の開催

四国地域における起業・創業意識の向上および独創的なビジネスプランを持つ起業家の発掘・事業化支援を目的として開催しています。



◆多度津モニタリング研修会 JR四国の旅行商品に

2018年12月に行った第14弾「多度津モニタリング研修会」において発掘した金剛禅総本山少林寺の魅力体験できる観光プランがJR四国より商品化されました。

6月15日、16日にそれぞれ行われたツアーには定員一杯の20名が参加されました。



地域経済の成長・発展

金融の枠を超えてお客さまと地域を徹底サポートすることで、共に成長する好循環を実現します。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

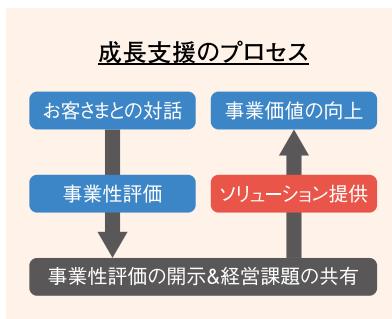


✓ 事業価値向上

事業性評価を通じた成長支援

当行は、「事業性評価※」を通じてお客さまの経営課題やニーズに対する適切な解決策をご提案し、お客さまの成長を支援しています。

※事業性評価とは、お客さまとの対話を通じて事業内容を理解し、財務分析や市場調査などの業界分析などを加えて、事業の将来性を適切に評価することです。



情報整理	分析	提案
<ul style="list-style-type: none">● 基本情報● 製品・サービス● 財務情報	<ul style="list-style-type: none">● 財務分析● 外部環境分析● 内部環境分析	<ul style="list-style-type: none">● 評価結果のご説明● 課題等へのご提案

販路拡大支援

全国規模の商談会を共同開催し、お客さまの販路拡大を支援しています。また、海外の銀行や他業種企業との業務提携を行い、お客さまの海外進出や海外ビジネスを支援しています。



キャッシュレス化推進

地域のキャッシュレス化推進を後押しするべく、サービスの拡充に取り組んでいます。2019年7月からは株式会社ネットスターが運営する「Star Pay」を活用したQRコード決済の加盟店取次業務を開始しました。



事業承継支援

地元中堅・中小企業の後継者問題に対し、当行の持つ豊富なネットワークを活用し、自社株式の承継支援やM&A等、円滑な事業承継のお手伝いをしています。また、四国アライアンス4行で共同設立したファンド運営会社「四国アライアンスキャピタル株式会社」で運営する「しこく創生ファンド」においても、事業承継を支援するための出資を行っています。



地域に住む人々の幸せの支援

資産形成のサポートを通じ幸せな生活を支援するとともに、社会貢献を通じ地域活性化に取り組みます。

11 住み続けられるまちづくりを



☑ 資産形成支援

114 Smart Life Webの開設

当行と提携している企業・団体にお勤めの従業員・職員の皆さま専用のWebサイトを開設しています。お手元のスマートフォンやタブレット端末でWeb窓口、お取引、金融関連の情報収集など、様々なサービスを無料でご利用いただけます。

当行とお取引のない方でも会員になることができます。

※通信費はお客様負担となります。



ライフプランセミナーの開催

お取引先企業の従業員の方を対象に、ご自身の生活設計（ライフプラン）について考えるきっかけにいただくことを目的にセミナーを開催しています。



☑ お客様の利便性向上

モバイルバンキングのサービス拡充

お客様の利便性向上のため、お手持ちのスマートフォンでご利用いただけるサービスの拡充に取り組んでいます。

	114スマート通帳	窓口業務	
	114ダイレクト	窓口業務	
	口座開設申込み	窓口業務	
	ローン申込み	窓口業務	
	ロボアドバイザー	相談業務	
	ライフプラン診断	相談業務	
	保険申込み	窓口業務	
	家計簿機能	相談業務	

通帳レス口座

- ✓ 紙の通帳が不要に!
- ✓ スマートフォン上で手軽に口座の資金管理が可能
- ✓ 取引明細にメモを書いたり取引内容の検索が可能

アプリの設定や口座の追加はこちら

メモや取引内容を検索できます

メモを書くことができます



家計簿機能

- ✓ 当行口座だけでなく他行口座や各種ポイントサービスとも連携
- ✓ 取得したデータを住宅費や食費等のカテゴリ毎に自動で仕分け
- ✓ グラフ表示やカレンダー表示で月々の収支を簡単に管理可能

月/年の切替、カレンダー表示など多彩な自動表示



✔ 環境保全

フォレストマッチング

香川県などと「百十四の森」フォレストマッチング協定を締結し、森林保全活動に取り組んでいます。



地域の清掃活動に参加

海や河川敷、商店街など各地域で開催される清掃活動に近隣店舗の行員が積極的に参加しています。



「百十四SDGs環境応援ローン」の取り扱い

2019年10月より、環境に関する公的認証を取得または取得予定の事業者に対する資金ニーズに金融面でサポートする商品の取り扱いを開始します。

「サステナビリティボンド※」へ投資

2019年8月、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するサステナビリティボンドへ投資しました。本債券の発行により調達した資金は、鉄道建設プロジェクトや船舶共有建造プロジェクトに充当されます。

※サステナビリティボンドとは、①環境改善効果があること(グリーン性)、②社会的課題の解決に資する(ソーシャル性)事業に資金使途を限定して発行する債券のこと。

✔ 社会貢献

CSR私募債の発行

私募債を発行したお客さまから受け取る発行手数料の一部で、お客さまの希望される学校や地方公共団体に物品を寄贈する寄付型私募債を取り扱っています。

金融教育

金融リテラシー向上のため、小学生から大学生まで幅広い年齢層に対し、金融教育活動を行っています。2019年8月には、小学生の親子を対象に「夏休み親子教室」を開催しました。



「瀬戸内国際芸術祭2019」の応援

瀬戸内の島々を舞台に開催される「瀬戸内国際芸術祭2019」を当行グループを挙げて応援しました。開幕前に港を清掃したほか、会期中には作品受付ボランティアを行いました。



誰もが活躍できる場の創出

多様な考え方を受け入れ、役職員や地域の人々がいきいきと活躍できる場を提供してまいります。



☑ 従業員の満足度向上

女性の活躍支援

女性の管理職登用に積極的に取り組んでおります。2019年4月の女性管理職比率は、23.4%で全国平均(14.9%*)を上回っております。

※出所:男女共同参画白書 令和元年度版

職場環境の向上

従業員およびその家族の健康の保持・増進に取り組んでいます。2019年2月には、経済産業省及び日本健康会議が実施する健康経営を実践している企業を表彰する制度「健康経営優良法人・大規模法人部門」の認定を受けました。



☑ ガバナンス

ガバナンス態勢及びコンプライアンス態勢強化への取り組み

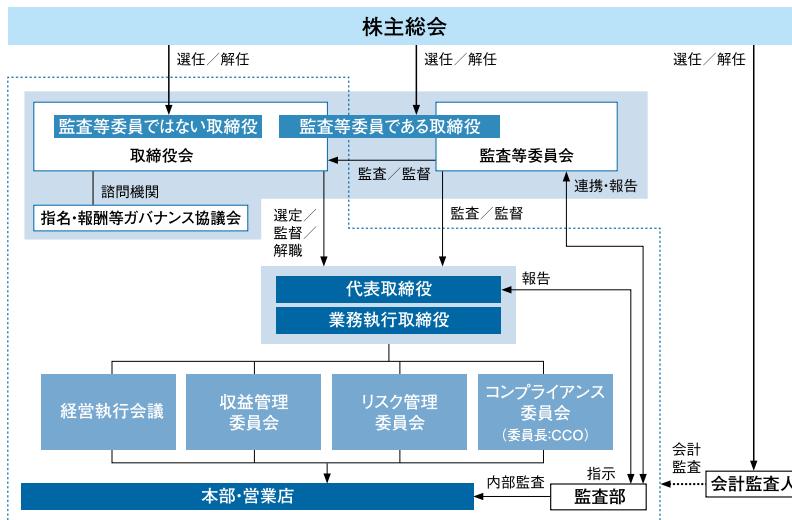
当行は、外部の意見を経営に反映させるとともに、意思決定の客観性と透明性を確保するため、任意の委員会組織である「指名・報酬等ガバナンス協議会」の機能強化を図りました。

また、2019年6月開催の第150期定時株主総会において社外取締役を1名増員したことで、取締役会に占める社外取締役比率は3分の1以上となりました。同時に女性取締役を2名とするなど取締役会の多様性向上につとめています。その他にも、後継者育成方針の制定、相談役制度の廃止、取締役解任手続の明確化を実施しました。

更に、コンプライアンスに関する情報収集・報告体制の再整備をするとともに2019年4月にはCCO*の設置やコンプライアンス統括部の新設など、コンプライアンス態勢の強化も図っています。

※コンプライアンス最高責任者 (Chief Compliance Officer)

コーポレート・ガバナンス体制



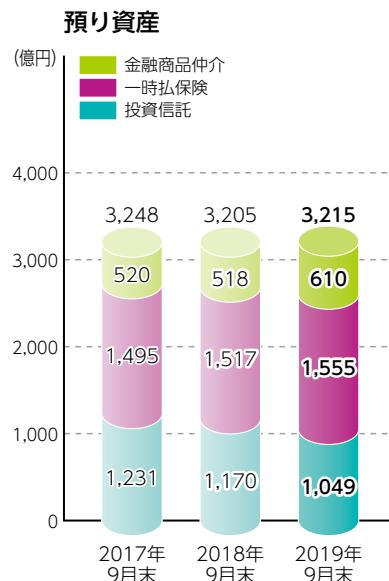
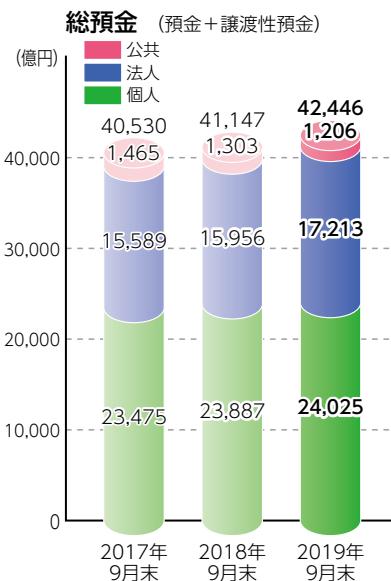
業績ハイライト

総預金・貸出金等の残高推移

総預金等

当中間期末の総預金残高は、公共預金は減少しましたが、法人及び個人預金が増加したことにより、前年同期末比1,298億円増加して4兆2,446億円となりました。

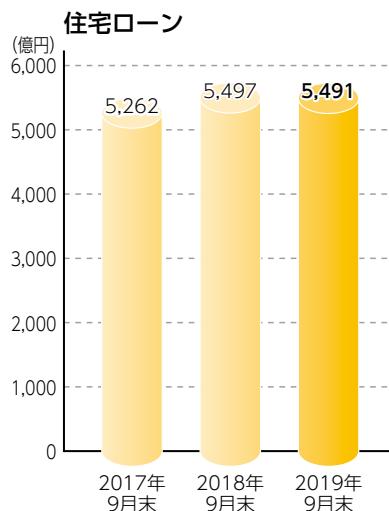
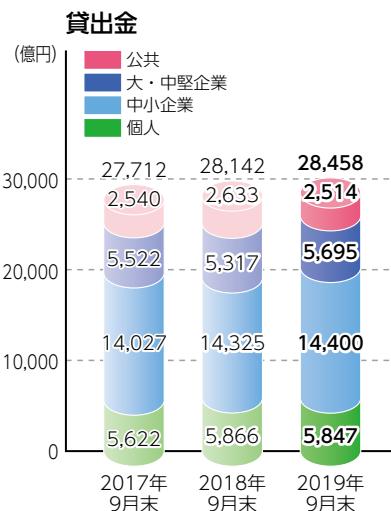
また、預り資産残高は、投資信託の残高は減少しましたが、金融商品仲介及び一時払保険の残高が増加したことにより、前年同期末比9億円増加して3,215億円となりました。



貸出金

当中間期末の貸出金残高は、公共及び個人向け貸出金が減少しましたが、大・中堅企業及び中小企業向けともに増加したことにより、前年同期末比316億円増加して2兆8,458億円となりました。

また、住宅ローンの残高は、前年同期末比5億円減少して5,491億円となりました。



業績の推移

コア業務純益は、経費は減少しましたが、資金利益の減少により、前年同期比7億74百万円減少して56億36百万円となりました。

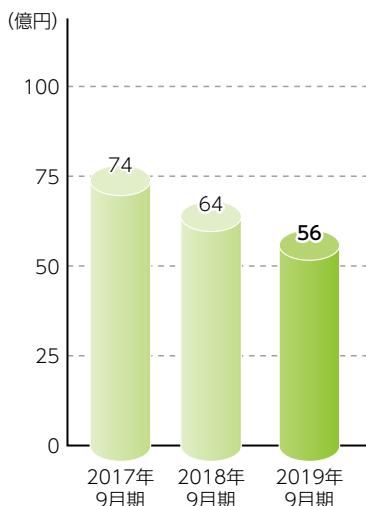
経常利益は、コア業務純益の減少や与信関係費用の増加などにより、前年同期比20億3百万円減少して48億40百万円となりました。

また、中間純利益は、前年同期比18億47百万円減少して27億62百万円となりました。

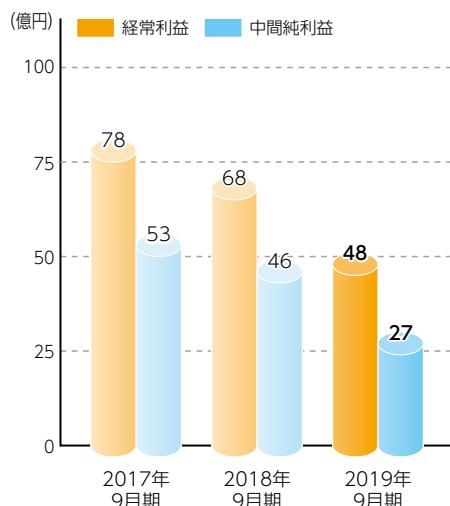
*コア業務純益とは

コア業務純益 = コア業務粗利益(資金利益 + 受取手数料など) - 経費
銀行の本来業務からの利益を表す指標。

コア業務純益

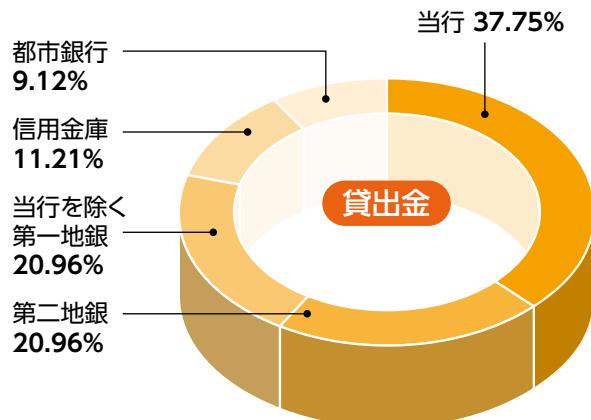
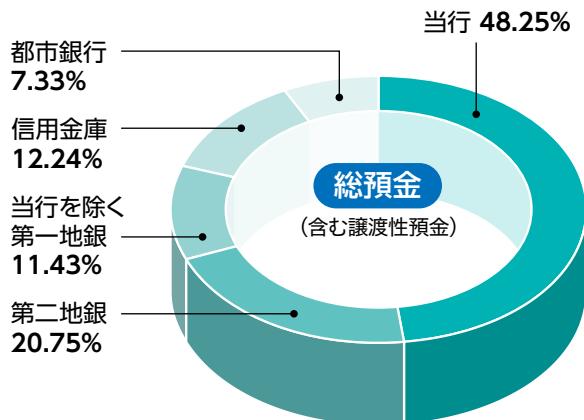


経常利益・中間純利益



香川県内シェア

(2019年9月30日現在)

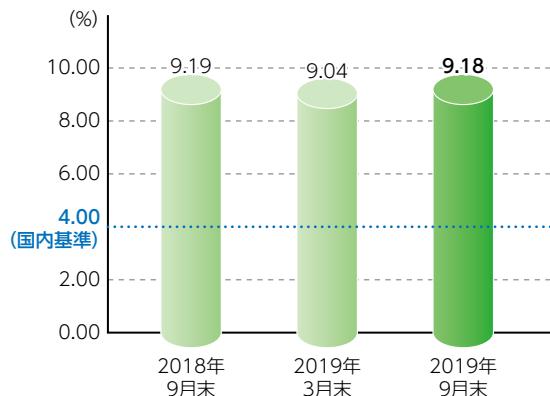


経営の健全性について

Ⅰ 連結自己資本比率の推移

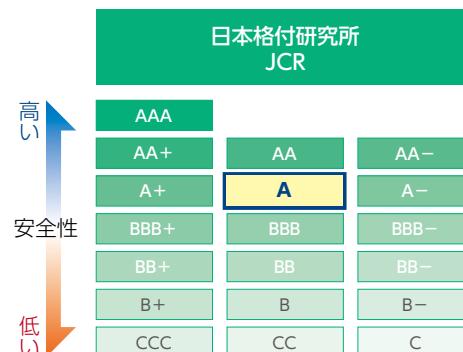
自己資本比率は、銀行の健全性を示す指標の一つです。

自己資本比率規制(国内基準)に基づく当行の連結自己資本比率は、2019年9月末現在で9.18%となっており、引き続き十分な水準を確保しております。



Ⅰ 格付

当行は、日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付について「A」の格付を取得し、国内外の格付機関から経営の健全性が評価されています。



(2019年9月30日現在)

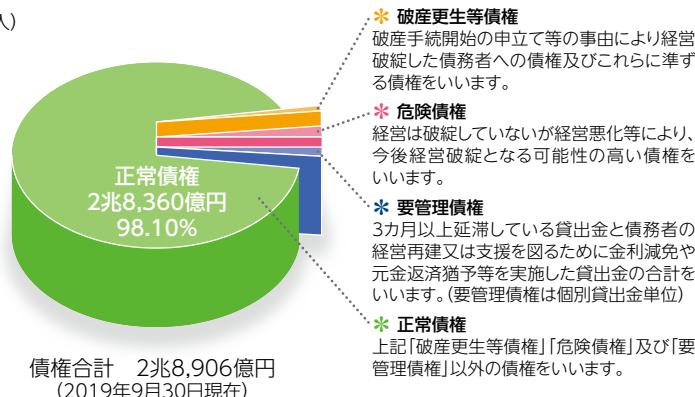
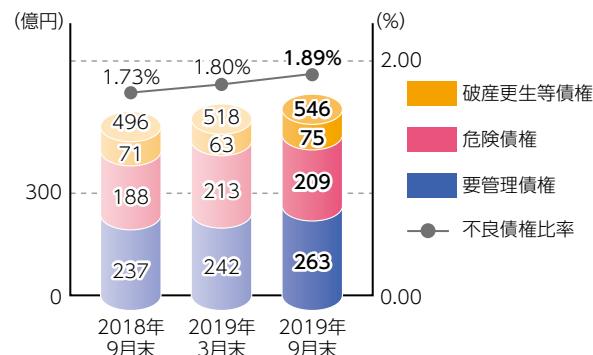
Ⅰ 金融再生法開示債権の状況

当中間期末の金融再生法開示債権ベースの不良債権残高は、前期末比28億円増加して546億円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は、前期末比0.09ポイント上昇して1.89%となりました。

* 金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額(貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金(貸出金に準ずるもの)及び銀行保証付私募債)を対象とし債務者単位で区分しております。

金融再生法開示債権の推移と対応状況(金額単位未満:四捨五入)



- * 破産更生等債権**
破産手続開始の申立て等の事由により経営破綻した債務者への債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
- * 危険債権**
経営は破綻していないが経営悪化等により、今後経営破綻となる可能性の高い債権をいいます。
- * 要管理債権**
3か月以上延滞している貸出金と債務者の経営再建又は支援を図るために金利減免や元金返済猶予等を実施した貸出金の合計をいいます。(要管理債権は個別貸出金単位)
- * 正常債権**
上記「破産更生等債権」「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権をいいます。

株式情報

■ 株式のご案内

▶ 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。

▶ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

▶ 配当金のお支払

期末配当金 3月31日現在の株主に対しお支払いいたします。
中間配当金 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主に対しお支払いいたします。

なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込みをご指定いただきますと便利です。

▶ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

▶ 株式事務取扱場所

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

各種お問合せ

(郵便物送付先) 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
(ご照会先) 0120-094-777(通話料無料)
(ホームページアドレス) <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

(株式に関する各種お手続き)

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求などについては、口座開設されている証券会社等(証券会社等に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社)へお届出ください。

▶ 公告掲載方法

電子広告により行います。
当行ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

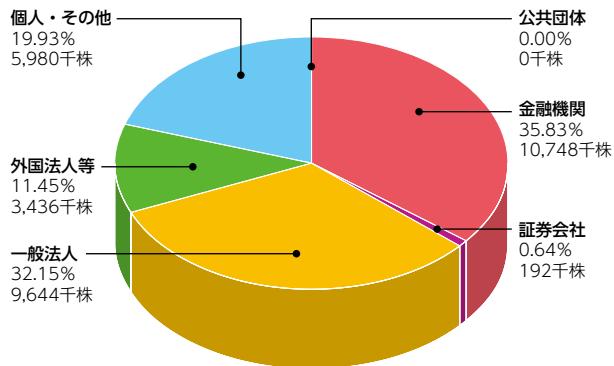
■ 株式の状況

(2019年9月30日現在)

▶ 発行済株式の総数：30,000千株

▶ 株主数：11,729名

▶ 所有者別株式数



■ 株主優待制度

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまに当行株式を長期間保有していただくために、株主優待制度を導入しております。

▶ 対象となる株主さま

毎年3月末時点の当行株主名簿に記載された100株(1単元)以上所有される株主さま

▶ 優待制度の内容

地元香川県の特産品を中心に掲載した専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。なお、専用カタログは毎年6月に発送しております。

保有株式数	専用カタログ商品
100株以上500株未満	2,500円相当
500株以上	5,000円相当



財務データ | 当行単体

中間貸借対照表

		(単位:百万円)	
科 目	2019年9月期 (2019年9月30日現在)	科 目	2019年9月期 (2019年9月30日現在)
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	939,012	預 金	4,138,547
コールローン	4,316	譲 渡 性 預 金	106,062
買入金銭債権	31,164	コ ー ル マ ネ ー	1,079
商品有価証券	14	債券貸借取引受入担保金	56,218
金銭の信託	4,730	借 用 金	290,218
有価証券	1,008,313	外 国 為 替	2,367
貸 出 金	2,845,870	そ の 他 負 債	60,091
外 国 為 替	5,015	未 払 法 人 税 等	1,803
そ の 他 資 産	79,435	リ ー ス 債 務	707
その他の資産	79,435	資 産 除 去 債 務	202
有形固定資産	33,951	そ の 他 の 負 債	57,378
無形固定資産	5,073	睡眠預金払戻損失引当金	378
前払年金費用	7,716	偶 発 損 失 引 当 金	90
支払承諾見返	20,391	株 式 報 酬 引 当 金	63
貸倒引当金	△16,324	繰 延 税 金 負 債	12,701
		再評価に係る繰延税金負債	5,235
		支 払 承 諾	20,391
		負債の部合計	4,693,444
		(純資産の部)	
		資 本 金	37,322
		資 本 剰 余 金	24,920
		資 本 準 備 金	24,920
		利 益 剰 余 金	161,978
		利 益 準 備 金	12,402
		そ の 他 利 益 剰 余 金	149,576
		固定資産圧縮積立金	273
		別 途 積 立 金	144,661
		繰越利益剰余金	4,641
		自 己 株 式	△1,998
		株 主 資 本 合 計	222,223
		その他有価証券評価差額金	47,604
		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△2,908
		土 地 再 評 価 差 額 金	8,275
		評価・換算差額等合計	52,972
		新 株 予 約 権	41
		純資産の部合計	275,237
資産の部合計	4,968,681	負債及び純資産の部合計	4,968,681

中間損益計算書

		(単位:百万円)	
科 目	2019年9月期 (2019年4月1日~2019年9月30日)	科 目	2019年9月期 (2019年4月1日~2019年9月30日)
経 常 収 益	35,893	経 常 費 用	31,052
資金運用収益	21,421	資金調達費用	2,900
(うち貸出金利息)	14,774	(うち預金利息)	1,158
(うち有価証券利息配当金)	6,374	役員取引等費用	2,105
役員取引等収益	4,994	その他業務費用	3,003
その他業務収益	5,645	営 業 経 費	17,593
その他経常収益	3,831	その他経常費用	5,448
経 常 利 益	4,840	特 別 損 失	644
特別損失	644	税引前中間純利益	4,196
税引前中間純利益	4,196	法人税、住民税及び事業税	2,129
法人税、住民税及び事業税	2,129	法人税等調整額	△695
法人税等調整額	△695	法人税等合計	1,434
法人税等合計	1,434	中 間 純 利 益	2,762

財務データ | 連結

中間連結貸借対照表

		(単位:百万円)	
科 目	2019年9月期 (2019年9月30日現在)	科 目	2019年9月期 (2019年9月30日現在)
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	939,125	預 金	4,133,129
コールローン及び買入手形	4,316	譲 渡 性 預 金	99,062
買入金銭債権	31,164	コールマネー及び売渡手形	1,079
商品有価証券	14	債券貸借取引受入担保金	56,218
金銭の信託	4,730	借 用 金	302,198
有価証券	1,006,676	外 国 為 替	2,367
貸 出 金	2,836,858	そ の 他 負 債	68,382
外 国 為 替	5,015	退職給付に係る負債	209
リース債権及びリース投資資産	24,449	役員退職慰労引当金	31
そ の 他 資 産	83,423	睡眠預金払戻損失引当金	378
有形固定資産	38,043	偶発損失引当金	90
無形固定資産	6,290	株式報酬引当金	63
退職給付に係る資産	4,562	繰延税金負債	11,826
繰延税金資産	1,029	再評価に係る繰延税金負債	5,235
支払承諾見返	20,391	支 払 承 諾	20,391
貸倒引当金	△19,047	負債の部合計	4,700,663
		(純資産の部)	
		資 本 金	37,322
		資 本 剰 余 金	30,486
		利 益 剰 余 金	169,479
		自 己 株 式	△1,998
		株 主 資 本 合 計	235,290
		その他有価証券評価差額金	47,877
		繰延ヘッジ損益	△2,908
		土地再評価差額金	8,275
		退職給付に係る調整累計額	△2,195
		その他の包括利益累計額合計	51,049
		新 株 予 約 権	41
		純資産の部合計	286,381
資産の部合計	4,987,044	負債及び純資産の部合計	4,987,044

中間連結損益計算書

		(単位:百万円)	
科 目	2019年9月期 (2019年4月1日~2019年9月30日)	科 目	2019年9月期 (2019年4月1日~2019年9月30日)
経 常 収 益	40,370		
資金運用収益	21,341		
(うち貸出金利息)	14,811		
(うち有価証券利息配当金)	6,256		
役務取引等収益	5,637		
その他業務収益	5,645		
その他経常収益	7,745		
経 常 費 用	35,180		
資金調達費用	2,904		
(うち預金利息)	1,158		
役務取引等費用	1,733		
その他業務費用	3,003		
営業経費	18,553		
その他経常費用	8,985		
経 常 利 益	5,189		
特別利益	16		
特別損失	647		
税金等調整前中間純利益	4,558		
法人税、住民税及び事業税	2,409		
法人税等調整額	△787		
法人税等合計	1,621		
中間純利益	2,936		
親会社株主に帰属する中間純利益	2,936		

当行は、下記9社を子会社として中間連結財務諸表を作成しております。

日本橋不動産株式会社
 百十四ビジネスサービス株式会社
 株式会社百十四人材センター
 百十四財田代理店株式会社
 株式会社百十四システムサービス
 株式会社百十四ジェーシーピーカード
 株式会社百十四ディーシーカード
 百十四総合保証株式会社
 百十四リース株式会社

店舗等の配置

[2019年9月30日現在]

- 本・支店 ● 出張所
- 代理店 ● その他 (単位:カ所)

	香川県内	香川県外	計
本・支店	65	38	103
出張所	21	0	21
計*	86	38	124
店舗外 A T M コーナー	148	16	164

※代理店、その他を除く

※2019年10月28日に桜町クイックスクエアを開設しました。

